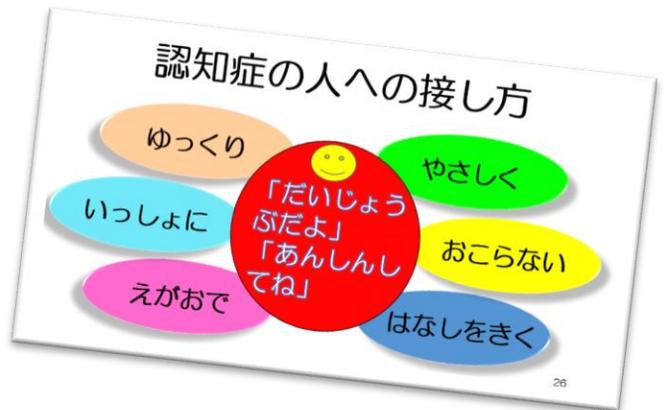


水洗小学校認知症サポーター養成講座を開催しました

令和2年12月11日（金）、水洗小学校で「認知症サポーター養成講座」を開催しました。講座には、水洗小学校3年生1組、2組の計38名が参加。

講師である「筑後市キャラバンメイト」のメンバーより「認知症」について講義を受け、みんなで認知症予防体操をしたり、寸劇を見ながら「認知症の人が困っていることに気づいたらどうしたらいいか」を一緒に考えました。

講義



認知症予防体操

“コグニサイズ” みんなで元気に体を動かしましょう♪



寸劇

道に迷っているおばあさんに会った時、どうしたらいいでしょうか？
2つのパターンをみて、一緒に考えてみましょう。





アンケートの記入

今日からみなさんも「認知症サポーター」です。アンケートの記入が終わったら、認知症の冊子と認知症サポーターの証“オレンジ・リング”をわたします。

3年生のアンケートより（一部抜粋）

Q.今日の講座を受けて思ったことを自由に書いてください。

- にんちしょうは おうえんなどがあれば、にんちしょうのしょうじょうあっかが ゆっくりになると分かった。
- いろいろにんちしょうのことがわかって、にんちしょうはとくべつなびょうきではないことがわかった。
- にんちしょうは、おとしよりがなりやすいと分かって そうなんだと思った。
- にんちしょうは いろいろな人になるということがわかった。
- 認知症の人と会ったら、やさしくできたらいいと思いました。
- にんちしょうの人は とくべつな人としせつでくらしているとおもったけど、今日のべんきょうで みんなともいっしょにくらせることがわかった。
- しらんぷりをしないで たすけてあげるとわかりました。
- 認知しょうの人に 手つだってあげることが大事だとわかった。
- どなっちゃダメ
- にんちしょうの人は まわりの人のせっしかたによって せいかくがかわる。
- にんちしょうは、何も1人でできないと前は思っていたけど 何にもできないことはないとしてよかった。
- にんちしょうの人にはやさしく、おこらない、はなしをきくと分かりました。
- いろいろなことをしれてよかったし、いろいろなことをしらべたけど しらべてないことがしれてよかったです。
- 今日は にんちしょうサポーターの人がいっぱいおしえてくれたので すごくべんきょうできました。
- にんちしょうのことで お年よりのほうがにんちしょうがかかりやすいし、だれでもかかるびょうきや なおるにんちしょうもあるし、イライラしたりしたら しょうじょうがあっかするとわかった。
- やっぱりにんちしょうの人には 何かかんたんなことでも できることがあればおてつだいをしたいと思う。

